

テーマ：罪がいかに汚れたものか、神様がいかに恵み深いお方なのかを考える

「クリスチャンの聖さについて正しく理解したければ、まず罪という巨大で厳粛な問題を検討しなければいけません。高い建物を建てるには、まず非常に深い穴を掘らなければならないのです。ここで考えを誤ると非常に困ったことになりま。聖さについての誤った見方は、たいてい人の墮落に関する誤った見方から来ていることが多いのです。…もし人が自分の魂が患う病の危険な性質を理解していないとすれば、偽りの、あるいは不完全な治療で満足していても何の不思議もありません。」(JC ライル)

「罪が苦々しいものとなるまでは、キリストは甘くならない。」(トーマス・ワトソン)

### ○測り知れない主の恵み：三つの場面

#### 1. 罪に汚れた人の心と生き方(1-4)

##### ●人の心が抱く根本的な二つの問題：

1) 神様に逆らう\_\_\_\_\_に耳を傾けること  
「罪は悪者の心の中に語りかける」(1a)

2) 神様に対する\_\_\_\_\_がないこと  
「彼の目の前には、神に対する恐れがない」(1b)

※詩篇 10:3-4

「悪者はおのれの心の欲望を誇り、貪欲な者は、主をのろい、また、侮る。悪者は高慢を顔に表して、神を尋ね求めない。その思いは「神はいない」の一言に尽きる。」

※箴言 15:3

「主の御目はどこにでもあり、悪人と善人とを見張っている。」

##### ●根本的な問題に影響される人の生き方：

a)

b)

※マタイ 12:34-35

「まむしのすえたち。おまえたち悪い者に、どうして良いことが言えましょう。心に満ちていることを口が話すのです。良い人は、良い倉から良い物を取り出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を取り出すものです。」

c)

d)

※箴言 4:16

「彼らは悪を行わなければ、眠ることができず、人をつまづかせなければ、眠りが得られない。」

※ローマ 3:18

「彼らの目の前には、神に対する恐れがない。」

## 2. 測り知れない主の恵み(5-9)

●神様の四つの御性質：

1)

2)

※詩篇 33:4

「まことに、主のことばは正しく、そのわざはことごとく真実である。」

3)

4)

※詩篇 50:6

「天は神の義を告げ知らせる。まことに神こそは審判者である。」

※ローマ 11:33

「ああ、神の知恵と知識との富は、何と底知れず深いことでしょう。そのさばきは、何と知り尽くしがたく、その道は、何と測り知りがたいことでしょう。」

※詩篇 145:9

「主はすべてのものにいつくしみ深く、そのあわれみは、造られたすべてのものの上にあります。」

## 3. 人の応答(10-12)